

IWA総会にみるグローバル 水企業の動きと中国市場

グローバルウォータージャパン 吉村 和就

4、GEはゼノン社(カジーセンター)に水の専門家ナタの膜メーカー)を今年3月に900億円近くで買収し、傘下に治めている。中国市場では、得意な電力インフラに加え、膜を使った水の高度処理、すなわち脱塩、純水処理、再利用ビジネスに力を入れようとしている。

具体的には2003年に強化したGE上海テクノロジー



フジテコムブース

いる。調印式に臨んだGEの会長兼CEOのジェフリー・イメルト氏は「GEは発展する中国に対し、GEのコンセプト、エコマニエーションに基づいて最大限の投資をする」と明言して

日系企業も最新技術を紹介 予想される欧米との厳しい戦い

6、日系企業の活躍 今回のIWA北京総会に向け、日本は初めて日本パビリオンを設営した。これ

また会期中の9月11日、中国の上下水道協会(中国城鎮供水排水協会)の設立

筆者が国連ニューヨーク本部に勤務していたとき、「国際貢献する場合、その国に見返りを求めてはいけ

水利部の要人と具体的な総合水管理政策と実行方法について、また9月12日、米国ITT社(世界最大のポンプサプライヤー)のCEOステイブ・ローランガ

本の水質分析機器を採用しているため、すなわち誤差がなく、故障しない日本製のCOD計が、税金の徴収ツールとして重宝され、

これに今まで30年間の無償資金援助を加えると約6兆円が中国に投入されてきたことになる。

いる。GEは今のところ、上下水道事業において大きな実績は上げていないが、GEマネーという豊富な資金源をもとに大きなプロジェクトを仕掛けてくること

5、グローバル企業・幹部の営業活動 グローバル企業各社とも、この機会を利用して中国の要人と積極的にコンタクトしている。新華社電によると9月11日、ウエオリ

日本ハビリオンで配布された、国際協力銀行(JBIC)のパンフレットには、「水が繋ぐ日中協力」と

IWA総会前の8月末、中国政府は水質汚染の浄化のため、今後5年間に1千億ユーロ(約14兆円)という莫大な金額を投資すると発表している。ますます中国ビジネスに拍車がかか

レロ氏は中国国家建設部、

活動の賜(たまもの)とも報じられ、代表幹事の玉井氏が、同協会の名譽会員に

た216プロジェクト、本当に日本は中国から感謝されているのだろうか、また

今回のIWA総会で見られた、欧米各国グローバル企業の成果を伴う具体的な行動と、日本の戦略(友好と援助)を比較してみると、なにか大きなボタンの掛け違いを感じる。複雑な思いで北京を後にした。



大成機工



愛知時計電機